

大牟田駅西口に 新たな “にぎわい”を

路面電車 204 号が、癒しのカフェに

かつて市内を走り、現在、大牟田駅西口に設置されている路面電車 204 号が、3月 28 日にカフェ・はらハーモニーコーヒーとしてオープンしました。駅前の新たなスポットとして“にぎわい”を創ります。

情報発信、
社会活動

マルシェ、
コンサート



人や地域、企業
生産者の方などを
繋げていきたいです

銀座通り商店街のにぎわい創出に携わる一方で、その流れがもつと広がってほしいと思っていました。そのため、新型コロナウイルスの関係で自社の経営も厳しい状況下でしたが、そんな中でも前向きにチャレンジしたいと思い、今回の事業に応募しました。

駅はまちの拠点・顔であり、大牟田に住んでいる人・訪れた人に、いいまちだと思ってもらえるような場にしたいと考えています。そのため、コーヒーとフルーツサンドの販売

「カフェを運営するのは、さまざまな事業を展開しながらまちづくりに取り組む、大牟田ビンテージのまち(株)代表の富山博史さん。富山さんに、今回の事業への思いを伺いました。」



この事業に賛同する仲間が、たくさん集まってくれました

をやりながら、情報発信の拠点としておもてなしの空間を創ります。将来的には、生産者や他の事業者の皆さんとコラボしながら、新しい商品や土産品の開発ができればうれしいですね。

また、店舗の周辺で定期的にマルシェを開催するなどして、駅前をにぎやかにしていく予定です。まだまだ、ほかの構想もあり、夢は膨らむ一方です。





hara harmony coffee はらハーモニーコーヒー って、こんなところ

長年、銀座通り商店街で多くの人に愛された「コーヒーサロンはら」の伝統と味を受け継ぎながら、新たなアレンジを加えた商品を提供していきます。

「古くてあたらしい」をコンセプトに、カフェ事業だけでなくさまざまな活動に取り組み、新たな観光スポット、情報発信の拠点になることが期待されます。



外側にはウッドデッキと屋根、開閉式のテントなどが設置され、開放的な雰囲気（写真はオープン前の3月24日撮影）

● 販売メニュー

- ・コーヒー（各種）
- ・フルーツサンド
キウイ、パイナップル、いちごなど



コーヒーは「コーヒーサロンはら」で使われていた豆を使用。フルーツサンドもパンや生クリーム、果物などの材料は、地元の事業者の協力のもと、なるべく地産地消にこだわっています。



● こんなことにも取り組んでいます

土産品の開発
マルシェの開催



観光などの
情報発信拠点



清掃活動・
グリーンバード
の実施

駅周辺の整備が進んでいます

● 大牟田駅連絡橋が生まれ変わってきれいに

大牟田駅の東口と西口を結ぶ連絡橋が、この度改修工事を終え、きれいに生まれ変わりました。また、風通しが良く、列車見学用の窓が設置されるなど、魅力的な空間となっています。



明るく、風通しのいい空間に



JR 大牟田駅 平瀬駅長、関市長、西鉄 大塚駅長

● 西口のトイレもリニューアル♪

西口のトイレに、洋式ウォシュレットが設置され、鏡も取り換えられるなど、きれいになっています。



わたしたちもがんばります



気軽に立ち寄ってください



スタッフ
串田 詠都 さん

大牟田市がもっと元気になればいいと、この事業に参加しました。富山さんをはじめスタッフの皆さんが、熱い思いで取り組んでいるので、負けないように頑張っています。気軽に立ち寄ってもらえるような雰囲気にしたいです。



若い人たちが若い人の感性で



元コーヒーサロンはら店主
上野 由幾恵 さん

若い人たちが自分たちのまちを盛り上げようとする姿勢に心が打たれます。私が培ってきたもので役に立つことはお手伝いさせていただきますが、昔のことに縛られず、自分たちの感性で、楽しく取り組んでもらえればうれしいです。